

比企広域市町村圏組合東松山斎場施設整備事業 基本設計【概要版】

比企広域市町村圏組合では、平成26年度「東松山斎場施設整備基本構想」を、平成28年度には「東松山斎場施設整備基本計画」を策定しました。

このたび、基本構想・基本計画を踏まえ、施設建築計画の方針を定めた「東松山斎場施設整備事業 基本設計」を実施しました。今後は、この基本設計に基づき、より詳細な「実施設計」を行う予定です。

■基本設計コンセプト

基本設計は、「豊かな自然と街が織りなす田園風景に調和し、樹林に包まれた静謐な葬送の地」を設計コンセプトとし、以下の点に留意して行っています。

○地域の田園環境と共生し、静かに佇む環境と調和した斎場

- 田園風景と調和し、厳粛さの中にもふるさとを感じる、遺族・会葬者の気持ちを大切にしたい斎場とします。

○一部既存施設を残し、既存斎場を運用しながら建替えが可能な配置計画

- 既存斎場敷地内に建て替えを行うことから、既存斎場の運用に支障のないローリング計画を含む配置計画とします。

○斎場の施設特性に配慮し、誰もが穏やかに利用できる葬送環境の創出

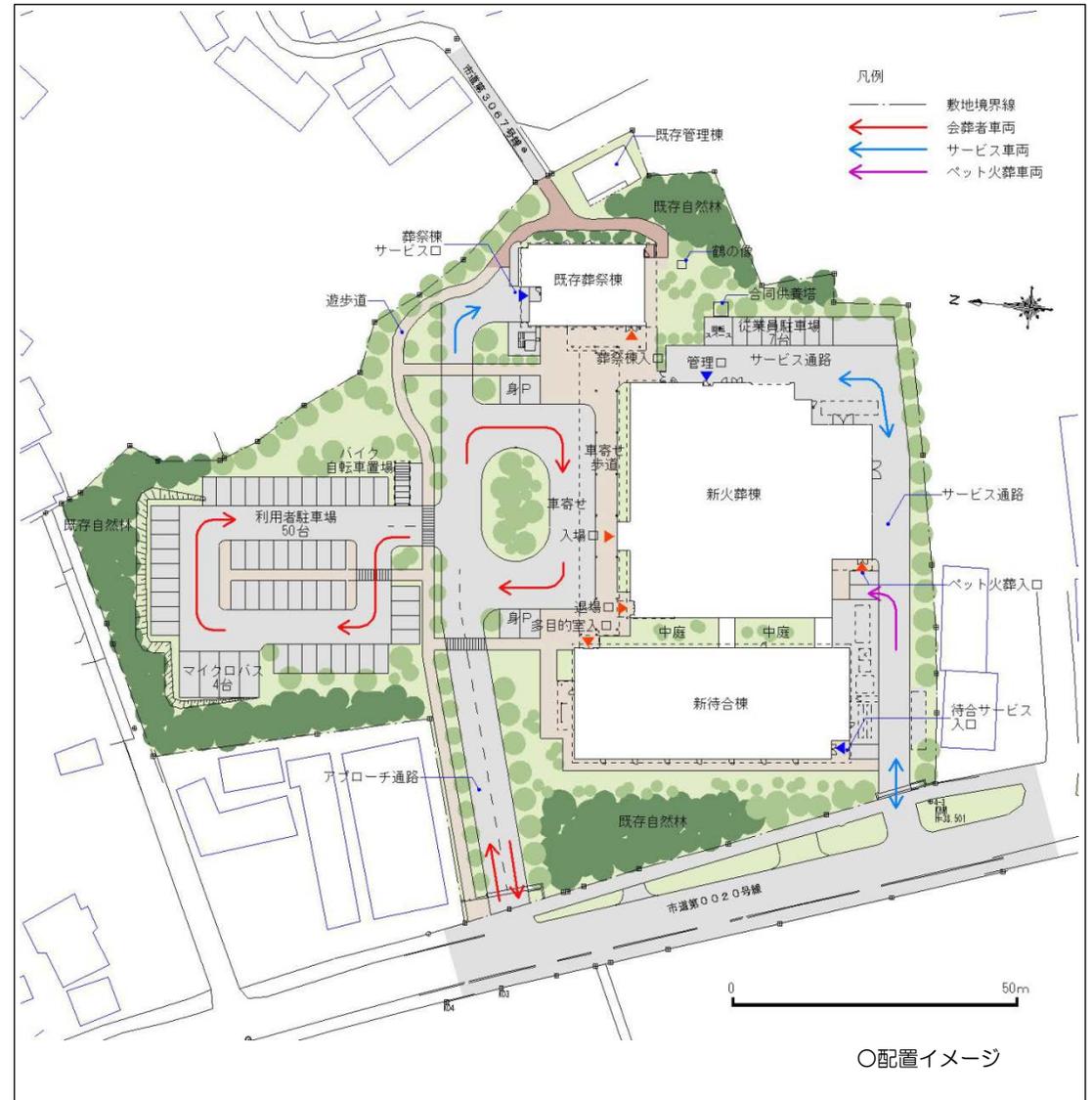
- 他の会葬者と動線交錯のないコンパクトな動線と、誰もが安心して快適に利用できる施設計画とします。

○施設特性に応じた細やかな配慮で運営コストを削減

- イニシャルコストや、運営段階まで見据えたランニングコストの低減を図り、トータルコストの削減を目指します。

■配置計画

- 敷地南側に新火葬棟、西側に新待合棟を計画し、既存葬祭棟とともに車寄せに面して出入口を設け、コの字型の一体的な建物配置とします。
- 車寄せを中心に、南側に建物群、北側に駐車場を配置した土地利用とすることで、北側住宅地への日影の影響や圧迫感を軽減します。
- 既存の樹林を極力残す配置計画とすることで、環境の変化を抑え、新しく植樹する木々とともに豊かな自然に包まれた葬送の地を創出します。
- サービス通路とアプローチ通路は、市道第20号線から入口を分けた配置とし、利用者エリアとサービスエリアの分離を図ります。



※本概要版の内容については、今後実施設計で変更になる場合があります。



○外観イメージ

■平面計画

- ・遺族・会葬者の心情に配慮し、他の会葬者との動線交錯のない円滑な移動が可能な計画とします。
- ・コンパクトで効率的な動線計画とし、高齢者が比較的多い会葬者に配慮します。
- ・基準に則したバリアフリー対策に加え、柩運搬台車の移動にも配慮し、利用者の誰もが使いやすい施設とします。

■外観計画

- ・既存樹木とともに生垣等の緩衝緑地を敷地周囲に配置し、また、新施設は低く抑えた勾配屋根により周辺と調和した外観計画とします。
- ・既存葬祭棟と統一感のある色彩計画とします。

■内装計画

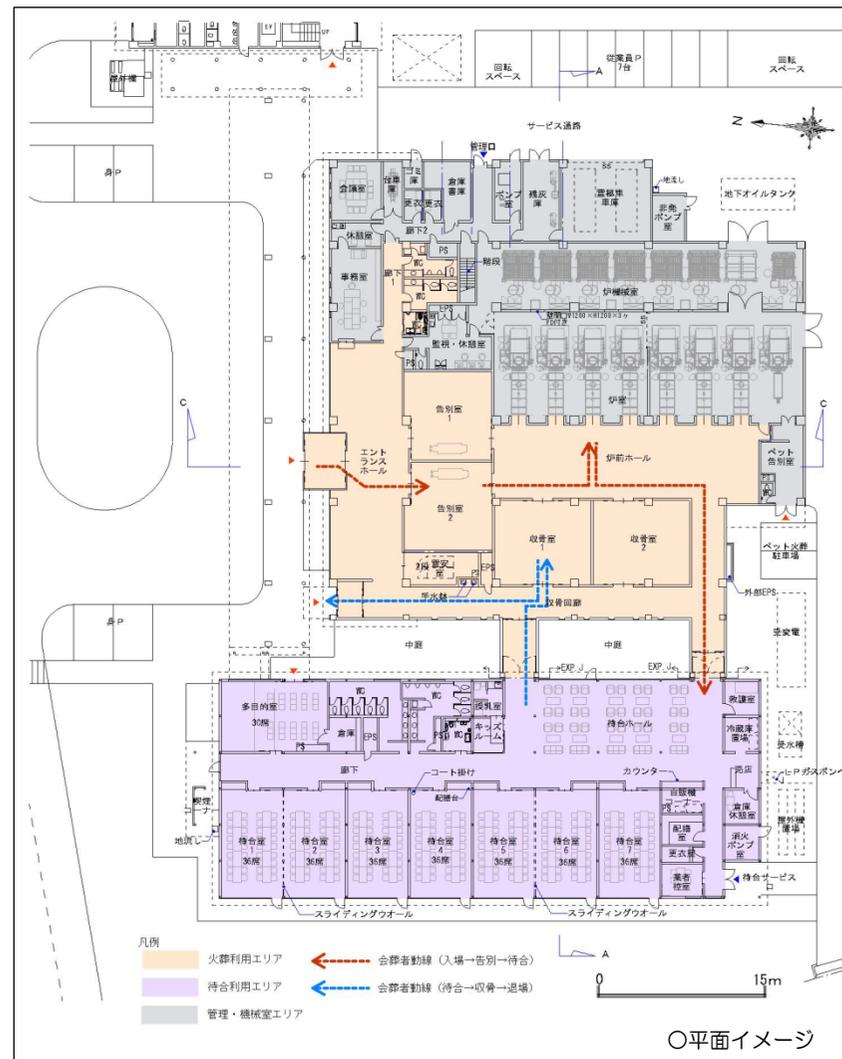
- ・故人との最後のお別れを行う場として、ふさわしい厳粛な空間を創出します。
- ・儀式的の流れに沿って変化する遺族・会葬者の気持ちの移ろいに配慮し、各場面にふさわしい雰囲気づくりを行います。

■ローリング計画

- ・既存の火葬機能を停止せず、また、既存葬祭棟の停止期間は極力短くします。
- ・工事期間は平成 30 年度から平成 32 年度となる予定です。

■災害対策

- ・十分な耐震性能を有する災害に強い施設づくりを行います。
- ・停電時に備え、自家発電機設備を設置します。



■建物の諸元

所在地	埼玉県東松山市松山町2-8-32
敷地面積	約12,600㎡
用途	火葬場、式場
構造・規模	新火葬棟：鉄筋コンクリート造 地上2階 新待合棟：木造 地上1階
建築面積	約3,250㎡
延床面積	約3,600㎡
施設概要	人体炉6基(予備スペース1基) 動物炉1基 告別室：2室 収骨室：2室 待合ホール 待合室 7室 多目的室1室 既存葬祭棟 駐車場 利用者駐車場：50台 障害者用駐車場：4台 バス駐車場4台

※本概要版の内容については、今後実施設計で変更になる場合があります。